

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係
令和5年10月13日 / No.2

「ぼくが持っていくよ」

私がかけてもらってうれしかったあったかい言葉は、「ぼくが持っていくよ」です。ぞうきを洗うために使うバケツをそうじがおわった後、私が片付けに行こうとすると、1人のクラスメイトが「ぼくが持っていくよ」と言って、水道までバケツを持っていき、バケツを洗ってくれました。私はこの行動・言葉からすごくうれしさを感じました。他の人がやらないことを自分からそっせんして行う姿にあったかい気持ちになりました。

「聞き上手だよね」

私は小さい頃から話すことが苦手で、人と会話するときには自分が話すことよりも相手の話を聞くほうが多かったです。自分的には、たくさん話ができる人のほうがうらやましかったのですが、友達の、「〇〇って聞き上手だよね。いつも聞いてくれてありがとう」という言葉によって、聞き役も相手の支えになるのなら悪くないなと思いました。

「たすかります」

就業体験で、働いている卒業生の方がお休みの時に、その人がしていた仕事を代わりにやらせていただいたら、翌日に卒業生さんに「たすかります」と言っていただけでうれしかったです。

「いってらっしゃい」

朝学校へ行くとき、地域の方に「おはようございます」と言ったら、「いってらっしゃい」と返ってきました。「おはようございます」は他人の感じがするけれど、「いってらっしゃい」は温かい家族みたいな感じがしてうれしかったです。今度は私が温かいあいさつをしていきます。

「苦しいのは、わけっこ。」

このような言葉をかけてもらったのは、私が学校での失敗や、いやなことを言われて帰りに泣いていた時でした。心が苦しさでいっぱいになった時、一緒に帰っていた友達が「苦しいのは、わけっこしたら少し軽くなるから、今度また苦しくなりそうだったら一緒に解決していこう。」と言ってくれました。一人で背負い込むことはないんだなと心が温かくなったのを覚えています。私も身近な人が苦しそうだったら、手を差し伸べて苦しいのをわけっこしていきたいと思いました。

「この花の名前、なんて言うの？」

夏休みのラジオ体操に参加した時のことです。帰り道が同じになった小学校高学年の女の子が、「この花の名前、なんて言うの？」ときいてきました。私が「さるすべりだよ。」と答えると、「ありがとう」の言葉が返ってきました。それ以来、仲良くなって、ラジオ体操の帰り道にはいつもお話をしながら帰るようになりました。たった3分程度の会話でしたが、とても温かい気持ちになれました。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。